

2022. 4 月のブルーベリー農園その 3

4 月半ばも休みの日は安芸区の自宅から妻の実家の東広島市豊栄町の農園に農作業に通っている。その農園の周囲がにぎやかになってきた。音はウグイス、キジの声、田んぼのトラクターなど。植物は足

元に咲く野の花のスマレ、レンゲ、タンポポ、キンポウゲ、イヌゴケ、カキオドシ、ムラサキゴケなど。見上げると花木ではウワミズザクラ、ヤマツツジ、ヤマザクラなどが花開く。「愛宕山」という上方落語に「レンゲ、タンポポ花盛り、・・・その道中の陽気なこと・・・」というくだりがあるがその風情で、農作業も気持ちよくすすめられた。



4 月 16 日 (土)

ブルーベリーの剪定、防草シートを敷く作業を続ける。この防草シートはもう 20 年近く使用している、草刈り機を使うときにシートを切ってあちこち破れているがいまだ現役。

里山の林が切れる辺りにはスマレが生えている。花を咲かせその場所を教えてくれる。

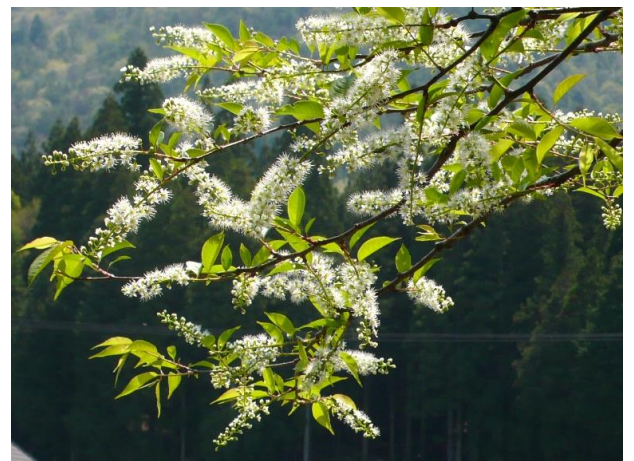
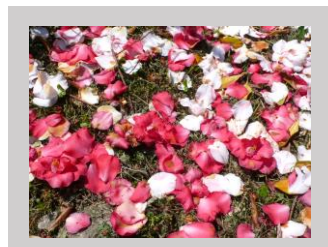


4 月 17 日 (日)

ゴールデンウィークにこの地域では田植えが始まるので土をトラクターで耕耘する姿が見える。日も随分長くなった。

4 月 20 日 (水)

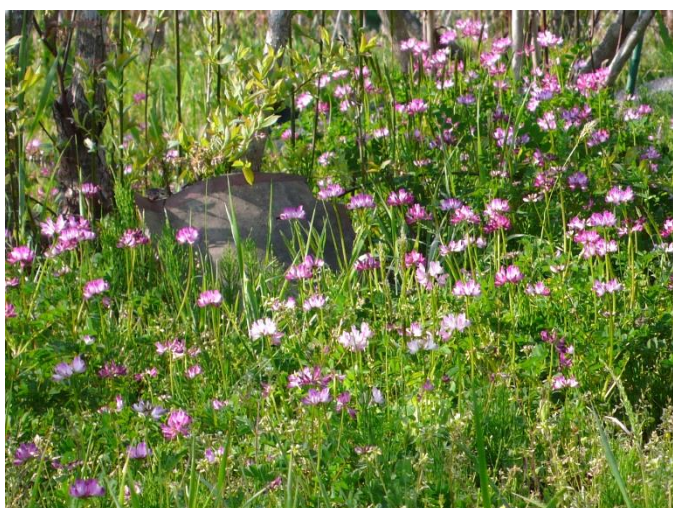
17 日にはまだ蕾だったが里山のブルーベリー園に行く途中の高木、ウワミズザクラがさすがしく開花している。



ブラシ上の長い穂に小さな花がたくさん開く。かすかな香りがある。

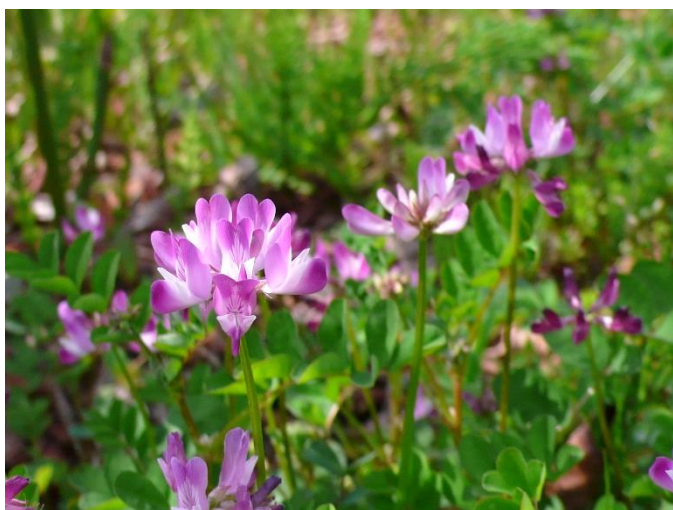


畑の畔のムラサキゴケの群生があちこちまだらに咲いている。



ブルーベリー畑の足元の野の花。

① レンゲ



② レンゲのアップ。安芸の郷のある安芸区でもあまり見ることはなくなった。

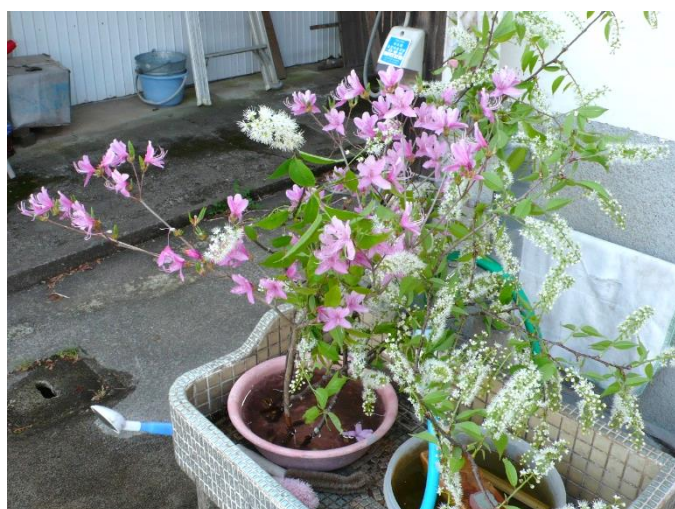
《2022年4月23日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》



③ 防草シートを敷く作業をするので視線は下。レンゲやスマイレやタンポポにシートをかけるのがためられるがたまにぎりぎりセーフの場所もある。



④ 結構大きなスマイレの株。手前右下にタチツボスマイレも見える。



自宅の玄関の甕にどさっと活けるため山ツツジ、ウラズミザクラを切って持ち帰る。

2022年4月23日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良